

# 外来魚のリリース禁止に関する取り組み状況について

滋賀県琵琶湖再生課 相本一輝

## 1. 外来魚のリリース禁止について

400万年の歴史を持つ世界でも有数の古代湖である琵琶湖には、固有種をはじめとする豊かで多様な生態系が育まれてきた。しかし近年、魚類の大半がブルーギルやブラックバス等の外来魚で占められるようになったことから、外来魚を少しでも減らしていく必要がある。そこで滋賀県では、釣り上げた外来魚は琵琶湖に戻さないなどの「琵琶湖ルール」を定め、レジャーという側面からも琵琶湖の生態系を取りもどす取り組みを進めている。

## 2. 外来魚回収施設（回収ボックス・回収いけす）

釣り人が外来魚のノーリリースを実行しやすい環境を作るため、外来魚回収ボックス、外来魚回収いけすを琵琶湖一円に設置している。

### （1）外来魚回収ボックス

南湖周辺に30基、彦根を中心とする北湖に10基、併せて40基を公園などに設置している。週に2～3回の割合で囑託員により回収を行っている。

平成19年度においては、11月末現在で約10.2トンの回収を行った。

### （2）外来魚回収いけす

北湖周辺の漁港を中心に30基設置している。週に2～4回の割合で外来魚回収委託業者により回収を行っている。

平成19年度においては、11月末現在で約1.5トンの回収を行った。

## 3. びわこルールひろめよう券事業

「琵琶湖ルール」をより多くの人々に広め、定着化を図るため、琵琶湖などで釣り上げたブルーギル、ブラックバスを所定の引換所に持ち込んだ人に外来魚500gに対して、買い物等に利用できる「びわこルールひろめよう券」1枚（50円相当）を渡すという取り組みを実施した。

①引換期間 : 平成19年7月7日（土）～8月31日（金）

②引換枚数 : 32,528枚

③外来魚回収量 : 16,435.6kg

④使用期間 : 平成19年7月7日（土）～11月30日（金）

過年度との引換状況比較

実施年度	引換枚数	引換日数	1日当りの枚数	外来魚回収量
H15	30,000枚	63日間	476枚/日	15.9トン
H16	55,582枚	90日間	618枚/日	28.5トン
H17	21,944枚	42日間	522枚/日	11.5トン
H18	39,400枚	54日間	730枚/日	20.2トン
H19	32,528枚	56日間	581枚/日	16.4トン

\*平成15年度から平成17年度までは「ノーリリースありがとう券事業」

平成18年度からは「びわこルールひろめよう券事業」

4. 釣り人からの外来魚回収実績

平成15年4月から平成19年11月末現在までの外来魚回収量は以下のとおり。

外来魚回収施設、ひろめよう券事業等の年度ごとの回収量 (トン)

年度	回収ボックス	回収いけす	ひろめよう券事業	持込ステーション ※1	計
H15	8.1	1.5	15.9	—	25.5
H16	10.6	1.3	28.5	—	40.4
H17	12.2	1.7	11.5	0.8	26.2
H18	12.2	1.7	20.2	1.2	35.3
H19 ※2	10.2	1.5	16.4	—	28.1
計	53.3	7.7	92.5	2.0	155.5

※1 持込みステーションとは、外来魚とありがとう券の交換終了後に、外来魚の引き取りと、情報の収集・発信を行う取り組みのこと

※2 平成19年度は11月末までの実績